

サラッとさえると超カッコいい！

英語脳

ネイティブっぽい

定番セリフ

50

前半25
フレーズ

サラッとさえると超カッコいい！

ネイティブ定番セリフ 50 フレーズ

【前半 25 : 無料トランスクリプトと解説】

01 What's up?

「元気？」「どうしてる？」「何かあった？」

What's up? は親しい相手に対して「元気？」とか「調子はどう？」なんて感じで尋ねる定番の挨拶表現だよ。普通は友達や親しい仲間どうしで使うんだ。定番の返答は Not much.「特に何もないよ」とか、What's up? ってオウム返しすることも多いよ。

02 How's it going?

「元気？」「調子はどう？」

これも定番の挨拶表現だよ。How are you? や How are you doing? を知っていても、意外とこの How's it going? を知らない人って多いみたいだね。アメリカでは日常会話で必ず耳にする挨拶の定番セリフなんだ。

03 Chill out!

「落ち着いて！」「のんびり行こうよ」

chill は「冷える」という意味で、興奮している人に「そんなに興奮しないで」とか「落ち着いて」とって言いたい時に使う定番セリフだよ。似ている表現に Calm down! なんていうものもあるね。

04 Hang in there!

「がんばれ！」「その調子！」

hang は「ハンガー」っていうように「吊るす」「掛ける」「ぶら下がる」という意味だから、直訳すれば hang in there は「そこにぶら下がったままでいる」という意味になるんだ。つまり「その調子で頑張っ！」とか、「逆境に負けず耐えて！」といった意味の応援フレーズになるってことだね。

05 Take it easy.

「ムキになるなよ」「気楽にいこうよ」

easy は「簡単な」「楽な」という意味だから、何か一生懸命になり過ぎているような人や切羽詰まった人、テンパっている人に対して「そんなにムキにならないで」とか「もっと気楽にいこう」といった意味で使うよ。怒り狂っている人をなだめる時にも「そんなにカッカしないで」という感じで使うんだ。

06 No way!

「無理だよ！」「ありえない！」

No way は文字通り「道が無い」「方法が無い」ということだから「イヤだよ〜！」とか「無理だよ〜！」とか「ありえない！」といった意味で使う拒否や嫌悪の定番表現だね。「冗談じゃない！」みたいな感じでも使うよ。こんなセリフを知っているとネイティブっぽくてカッコいいね。

07 You bet!

「もちろん！」「どういたしまして」

直訳すれば bet は「賭ける」という意味だから、相手がお金を賭けてもいいほど確実だ
ってということ。相手の言っていることに対して「その通り！」「もちろん！」と同意したり、
Thank you って言われた時に「どういたしまして」って返す時にも You bet! は使える
よ。

08 That's a piece of cake.

「そんなの何てことない」「朝飯前さ」

a piece of ~ は「~のひとつかけら」のことだから、a piece of cake は「ケーキのひとつ
かけら」って意味だね。転じて、相手が恐縮してお礼を言ってきた時や「大丈夫？」なん
て尋ねられた時なんかには That's a piece of cake. って言えば「そんなの何でもない」
「大したことない」「朝飯前だよ」って意味になるんだ。

09 Don't sweat it.

「心配しないで」「気にしないで」

sweat は「汗」や「汗をかく」って意味があるんだ。心配したり、怖がったりした時に人
は汗をかくから、Don't sweat it. といえば「汗をかかないで」、つまり「心配しないで」とか
「気にしないで」「大丈夫だよ！」といった優しい意味の定番セリフになるんだね。

10 It's a no-brainer.

「そんなの何てことない」「朝飯前だ」

これも a piece of cake と同じで「簡単なこと」「何てことない」「朝飯前」といった意味の定番表現だよ。no-brainer というのは要するに「考えるまでもないこと」「悩む必要がないこと」のこと。こんなセリフもパツと使えるとカッコいいね。

11 That's the bee's knees.

「それは最高だ・素晴らしい」

直訳すれば the bee's knees は「ミツバチの膝」という意味になるけれど、意味はそうではなくて「最高だ」「一流だ」「ものすごく素晴らしい」ということを表すよ。飛びぬけて素晴らしい人や物事のことを the bee's knees っていうんだ。ビーズとニーズが韻を踏んでいるね。英語は音楽的な言語だって言われるけれど、確かに音遊びが面白いね。

12 You're the bomb!

「あなたって超サイコー！」

bomb は「爆弾」とか酸素ボンベの「ボンベ」って意味があるけど、ここでの the bomb は「最高の人・物」「すごく美味しい食べ物」という意味になるんだ。You're the bomb! なら「あなたって超サイコー！」、食べ物に It's the bomb! って言えば「超ウマイ！」って意味になるよ。

13 What a drag!

「なんて面倒臭いんだ！」「超タイクツ！」

drag は引きずるっていう意味だけど「退屈なこと」「面倒なこと」っていう意味もあるんだ。What a ~! は「なんて～だ！」っていう感嘆や驚きを表す定番表現。つまり What a drag! で「なんて面倒臭いんだ！」とか「なんてタイクツなんだ！」って意味の定番セリフになるんだ。

14 I'm all ears.

「話を聞かせて」「話を聞くよ」

I'm all ears「私は全部耳です」なんておかしい表現だけど、つまりこれは体全体が耳になっているほど、相手の話を聞きたがっているよっていう意思表示の定番表現なんだ。相手が何かを話そうとしている時に「話を聞かせて！」とか「話を聞きたいな！」みたいに話を促す時に使うんだ。

15 Let's hit the road!

「出かけよう！」「さあ出発だ！」

hit は「叩く」っていう意味があるけど、road「道」を叩くように元気よく足を鳴らして外へ出かけるようなイメージの表現だね。

16 I'm feeling under the weather.

「ちょっと体調が優れないんだ」

weather は「天気」のことだけど「悪天候」という意味もあるんだ。under the weather は昔、船乗りたちが荒れた天候の下では甲板の下のキャビンに避難したことに由来する慣用表現だそうだよ。I'm feeling ...のように現在進行形で表すと「今だけちょっと体調が悪い・具合が良くない」というニュアンスになるんだ。

17 That's the real McCoy.

「本物だよ」「本人だよ」「正真正銘さ」

リアルマッコイズっていうブランドもあるけれど、That's the real McCoy. といえば「正真正銘のものだよ」とか「本物さ」という意味の定番セリフになるよ。ニセモノじゃない、本物だ！って言いたい時に使うといいよ。

18 Keep your chin up.

「元気を出して」

chin は「あご」のこと。ガッカリして元気が無いと下を向いて「あご」が下がっちゃうから、「あご」を上げて元気を出してっていう意味の定番セリフだね。keep は「～を保つ」という意味だから、keep your chin up は「ずっと上を向いていようね」という意味なんだ。いい表現だね！

19 It's a small world.

「世間は狭いね」「世界は小さいね」

日本語でも「世間は狭いもんだなあ」なんて言うけれど、英語でも It's a small world. という表現があるんだ。ディズニーランドのアトラクションや歌では「世界は小さいのだから、皆仲良くしようね」という意味で使われているね。

20 Can you believe it?

「信じられる？」

何か信じられないようなことや、とんでもないことについて Can you believe it? といえば「信じられる？」という意味の定番セリフになるよ。「信じられない！」という時には I can't believe it. とか Unbelievable!, That's incredible! なんて言うこともあるよ。

21 I'm on cloud nine.

「メッチャ幸せ」

この表現の語源は諸説あるけれど、そのうちのひとつとして cloud nine 9 番目の雲とは「積乱雲」のことで、それぐらい高い空に舞い上がるような気持ちイコール「超幸せ！」って意味になるらしいよ。似た表現に seventh heaven っていうのもあるね。どっちも「超幸せ！」「最高にハッピー！」っていう意味なんだ。

22 I'm broke.

「一文無しだよ」「金欠だよ」

broke は「一文無しの」「金欠の」という意味の形容詞。お金が全然無い！っていう時に使える表現だよ。あまり使いたくないけどね！

23 I'm starving.

「お腹ペコペコ」「お腹が空いて死にそう」

「お腹が空いた」というと hungry っていう単語を思い浮かべるけれど、starving っていうのはもっとオーバーに「お腹が空いて餓死しそう」という意味を表すんだ。大げさに「お腹が空いて死にそう！」なんていう時に使えるよ。

24 Cut the cheese.

「おならをする」

チーズを切るとおならみたいな匂いがしたということから、英語では cut the cheese という「おならをする」という意味になるんだ。例えば Who cut the cheese? と言えば「おならしたの、誰？」っていう定番セリフになるよ。こんなセリフを言ってもちっともカッコ良くないか。

25 Break a leg!

「がんばれ！」

break a leg は「足の骨を折る」という意味だけれど、例えばこれからオーディションに出る人や舞台に立つような人に対して「がんばって！」っていう時に Break a leg! なんて声をかけるんだ。